



ドラマは現場で起こっている!

～数字と物語で、社会教育の成果を現す試み～



■ わたしたちは



■ わたしたちは



■ わたしたちは

環境教育

プログラム実績(2016年度)

活動日数(のべ) 463日

参加者数(のべ) 8,620人

(ユニーク 約3,000人)

自然環境を活用した社会教育

■ 今回なにをするか



事業

■ 今回なにをするか



社会の
変化



事業

■ 今回なにをするか

確かに
変化しているか？ →

社会の
変化

手法やプロセスは
適切か？ →

事業



■ 今回なにをするか

確かに
変化

手法
適切か？

はかり方を
決めたい

社会の
変化

事業

■ 課題①

社会教育
は
どうはかる？

■ 課題①

高校生が
社会とつながる場づくり

地域コミュニティ
をつくる
子ども食堂

塾に通えない子への
学習支援

■ 課題

利用者数？

就労率？
進学率？

満足度？

をつくる

も食堂

ない子への

支援

■ 課題

利用者数？

就労率？
進学率？

満足度？

数字で
表現
しきれん
だろうか？



■ 解決に向けて①

narrative

物語、語り

→ インタビューや

自由記述

定性調査

■ 解決に向けて①

質問の「質」

「何を引き出すのか」

→ 方針や手法の確立

→ インタビュアーの

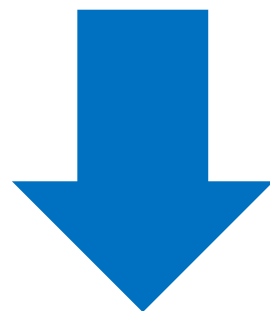
訓練

■ 課題②

社会性が
本当にあると
言い切れる？

■ 課題②

一般市民・NPO会員
支援者



ステークホルダー

■ 解決に向けて②

支援者・
社会的投資家の
判断材料となる
数字

継続的な定量調査

■ 課題③

自分たちの姿は
自力では
見られない

■ 解決に向けて③

外部専門家の伴走

NPO事業評価



公共政策学
非営利組織論



社会学



■ 解決に向けて③

私たちが悩み
つまづいた形跡ごと
評価して頂く

策定プロセスの公開

社会教育の価値と
その社会性について

考え抜く
機会と仲間がほしい

この壁に向き合う
すべての
NPOのために

■ 私たち

= 静清信用金庫 × ふじのくに未来財団
× エコエデュがやる意味

■ 私たち

= 静清信用金庫 × ふじのくに未来財団
× エコエデュがやる意味

地域の答えは
地域で出す



eco-edu

エコエデュ